

ヨルダンにおけるイラク難民の状況 (現場視察ミッション帰国報告会)

イラクでは治安の悪化により、420万人が家を追われ、うち200万人が主にヨルダンとシリアの周辺国へ逃れ、また国内でも220万人が国内避難民となっています。帰還の目途がたたないまま、多くのイラク難民を受け入れているヨルダンとシリアでは、各政府がUNHCRをはじめとする国際機関、NGOと共に協力しながら懸命の支援活動を続けています。しかしながら難民の数が2006年より急激に増えているため、また多くの難民が都市部にまぎれて滞在しているために、きめ細かい支援活動に支障をきたすことも否めません。また教育、医療などの公共サービスなどのニーズが難民まで行き渡るには多くの課題があります。

この状況を受け、難民事業本部主催で2007年12月にヨルダンの首都アンマンへ日本からの現場視察ミッションがとりおこなわれました。ヨルダンにおけるイラク難民の抱える様々な問題、解決へ向けた取り組み、また日本からの支援に関して、視察メンバーの報告をもとに、参加者の皆様と考えていきたいと思っております。

記

日時：2008年2月8日(金) 16:00 ~ 18:00

会場：UNハウス 国連大学5階 エリザベス・ローズ・ホール (住所：東京都渋谷区神宮前5-53-70、詳しくは <http://www.unu.edu/hq/japanese/access/index.html> をご参照ください。)

主催：(財)アジア福祉教育財団難民事業本部

共催：UNHCR駐日事務所、(特活)ジャパン・プラットフォーム

協力：平和構築フォーラム・日本 UNHCR協会

参加費用：無料

使用言語：日本語

参加ご希望の方は、2月5日(火)までに FAX: 03-3449-7016 または email: kikaku2@rhq.gr.jp 宛に、お名前、ご所属、ご連絡先を明記のうえ、難民事業本部担当: 阿阪(あさか)まで、お申し込み下さい。多くの皆様のご参加心よりお待ちしております。

プログラム		(司会: UNHCR 駐日事務所/平和構築フォーラム 岸守 一)
16:00-16:05	開会の辞	難民事業本部 本部長 軽部 洋
16:05-17:35	ヨルダンにおけるイラク難民の状況報告 ヨルダンにおけるイラク難民の概況、イラク難民受け入れ、イラク難民に対する支援内容と現在のニーズ、将来の課題と展望等の報告	
17:35-17:55	質疑応答	
17:55-18:00	閉会の辞	UNHCR 駐日事務所代表 滝澤 三郎
18:00-	懇親会	本会終了後、発表者との歓談の場となります。皆様ぜひご参加ください。

以上